

タイちゃん だより



発行者
柏崎総合医療センター
看護部長室

平成30年 9月 12日
第5号

実りの秋を迎え、ますます食欲が増進しています。食べ物だけでなく、学習成果も実りあるものにしていきたいと思います。

タイちゃんだより第5号を発行することができました。そして、柏崎総合医療センターのホームページにも掲載することになりました。<http://www.kashiwazaki-ghmc.jp/>「看護部長の部屋」の一番下から「タイちゃんだより」を見ることができます。他のページと合わせて、検索してみてくださいね！



看護研究

「看護研究って大変だよな」という声を聞きます。そもそも看護研究って、どうしてやらなければいけないのでしょうか？

日本看護協会は「看護者の倫理綱領」で、条文10.「看護者は、より質の高い看護を行うために、看護実践、看護管理、看護教育、看護研究の望ましい基準を設定し、実施する」条文11.「看護者は、研究や実践を通して、専門知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する」と2条にわたって、看護研究を行うことでより質の高い看護を目指すよう謳っています。看護研究は、専門職業人として、常に新しい知識の獲得、技術の向上と発展の実現するための一つの手段になります。



第49回日本看護学会—看護教育—学術集会（広島国際会議場）8月16・17日

学会メインテーマ：未来をつかむ！Chance Challenge Changeで自ら成長する看護職
医療安全における複合的教育キャンペーンが看護師にもたらす効果（中間報告）

～興味・関心につながるか～

中村文枝皮膚排泄認定看護師 徳原伸子感染管理認定看護師 大倉里美看護部医療安全対策委員長

3名で、3する運動（感染・褥瘡・安全）活動の効果をポスター発表してきました。今後もキャンペーンを続け、効果を検証し発表する予定です。

学会に参加して、現代日本の背景をふまえ、看護職の役割を改めて考えるきっかけとなったそうです。より、総合的・専門的な看護が必要であり、これまで以上に活躍できる看護職の育成が必要だと感じてきたようです。なお、今回発表に使用したポスターは研修室に掲示しています。

厚生連看護研究発表会 11月10日（土）

外来：救急外来における感覚的待ち時間短縮への取り組み

—リーフレットを用いた待ち時間に関する事前説明の効果—

西5：NPPVマスクフィッティング手技による皮膚損傷への影響 —看護師側の要因の実態調査—

新潟県看護協会看護学会 11月30日（金）

手術室：ツーステージ法とウォーターレス法の皮膚への影響の比較

柏崎総合医療センター 看護研究発表会 2月19日（火）

今年度は、透析室・東4・西4・東5・東6・西6が看護研究に取り組んでいます。



看護部研修会

最強医療コミュニケーション

なんでやねん力

講師：Wマコト

日時：9月18日（火）17：30～

医療人が変わる！

病院が変わる！

患者さんが元気になる！



写真：www.entatsu.com

当日参加OK!

インターンシップ受け入れ8月21日・22日

西4階病棟・手術室を体験しました。

感想：

病院の雰囲気良く、患者さんに敬語や敬意を払って接している姿を見て、見習いたいと思いました。



2・3年目看護師

看護技術習得月間 7～9月

ナーシングスキル

10月31日期限の課題：基準手順（静脈血採血）



厚生連新人研修8月25日（土）受講者124名

テーマ：明日へのチャレンジ！

講師：TNサクセスコーチング（株）代表取締役 奥山美奈先生

目的：自己を見つめリフレーミングする力を育む

目標：1.他者との交流と振り返りを通して、自己を理解する
2.物事を多方向から考えることができる

感想：

- ・研修で、自己の悩みの解決法と課題を明確にすることができました。
- ・改めて自分の性格や置かれている環境を知り、周囲の人に目を向け関わることの大切さを学ぶことができました。
- ・「自分を許せるのは自分しかない。1日の最後に5分振り返る」という言葉を受け、それを実行し自分の成長につなげたい。

座席番号に「楽しい研修をありがとうございました」と受講者からのメッセージを発見！担当者のモチベーションを上げてもらい担当者一同、嬉しくなりました。



中学生職場体験

- 8月末までに6校14名が職場体験に来ています。お礼のお手紙の一部を紹介します。
- 「今回の職場体験を通して、病院だけでなく他の仕事でも、利用される方の気持ちになって仕事をすることが大切だということがよくわかりました。皆様から教えていただいた『相手の立場で考えて行動や発言をする』ことを今後の生活に活かして中学校での生活や行事、活動を頑張りたいと思います。」



米山登山 993m！

20数年ぶりに米山に登りました。

柏崎市民にとって、米山は特別な山！

学生時代に登山したことのある人も多いと思います。そして入院されると、米山が見えるベッドを希望される方が多くいらっしゃいます。米山のパワーにも支えられているのではないのでしょうか。なかなか、希望されるお部屋へ移動することができずに、申し訳なく思います。



ブナ林の空気は清々しく感じます。



ガンバレ岩は、昔はもっと大きく感じました。



山頂から柏崎市街を一望！残念ながら、この日は雲が低く、佐渡は見えませんでした。

DMAT 北海道に初出動！



- 9月6日（木）未明に平成30年北海道胆振東部地震、最大震度7の地震が発生しました。県からの要請で当院のDMAT1チーム5名と連携協定を結んでいる柏崎消防から2名の計7名が震災当日の夕方、北海道に出発しました。そして3日間の活動を終え、9月10日夕方に無事帰還しました。
- 11年前の中越沖地震では、全国から駆けつけてくれた多くのDMATに支えられました。
- 今回被災地での実践を経験し、現地で日頃の訓練の成果を発揮することができたのではないのでしょうか。
- 現地へで活動したメンバーはもちろん、病院で勤務をしながら、チームのサポートをしてくれたDMATメンバー、留守を守った病院職員全員の協力があったの活動だったと思います。みなさま、お疲れ様でした。被災地は、復興までに時間がかかります。自分たちにできる支援をしていきたいと思います。
- 「災害は忘れたことに、やってくる」から、「災害は忘れた所に、やってくる」と言われています。忘れることなく、災害に対する知識・技術を学び、備えていかなければなりません。
- 想定外を想定内に変えていきましょう。



苫小牧市立病院での全体ミーティングの様子



病院から、メンバーを支えてくれました。

DMAT